

瓦版

NO.3 寿会・湘南支部



あけまして
おめでとう
御座います

あけましておめでとうございます。今年新しい12支の年頭にふさわしい快晴の年明けになり、皆様健やかな新年を迎えられたことと存じ上げます。昨年は皆様のご支援・ご協力のおかげをもちまして何とか新体制の運営ができましたこと厚く御礼申し上げます。

今年湘南支部発足10年目に当たりますので先輩役員のお知恵をお借りし、より楽しい催しを計画していきたいと思っております。会員の平均年齢も79.4歳となりますが、昨年同様皆様お元気で各イベントに多数の方々にご参加いただき、健康増進と懇親を深めたく推進していきたいと思っております。どうぞ昨年にも増してより一層のご支援賜りますよう本年もよろしくお願い申し上げます。

みかん狩りのご報告

2019年12月3(火)

早川・山口みかん園

出席者 飯田進、大曾根収、川崎勝久、北川利昭、小池潔、古林茂、斎藤秀昭、多田晋、中谷泰治、福岡満、南健輔、脇坂宣志、渡辺信久、八木関三、景山康二、浜田正義、伊藤恵美子 17名



～山口農園の皆様、宴会会場までセッティングして頂き本当に有難うございました～

山口農園は、山口勝也氏、田中利保氏、漢人則夫氏、浜田正義氏の4名で運営されています。活動内容は500本余りのミカンの樹の剪定、下草狩り、肥料まき、みかんの出荷(年15トン位)「みかん狩り」主催。(昨年は100名ほど参加されました) 現在の問題点は、みかん収穫のコンテナ(25Kg)や肥料(20kg)が重く持ち運びが困難になってきたこと。そしてスタッフの高齢化だそうです。(情報提供: 浜田正義氏)

山口農園
のご紹介



農園の旗



(説明される山口氏)



(田中氏と漢人氏)

初詣と新年会のご報告
2020年1月9日(木)



龍宝寺
湘南支部 2020年 初詣&新年会



2020.01.09

参加者

飯田進、大曾根収、菅野敏、北川利昭、古林茂、斎藤秀昭、多田晋、福山幸治、南健輔、山本三樹夫、脇坂宣志、八木関三、景山康二、浜田正義、伊藤恵美子 (15名)

お花見のご案内と申し込み

～伊勢山公園での花見のご案内～
日 時：2020年 3月 31日 (火) 11:00
場 所：藤沢本町駅改札口集合 伊勢山公園会場迄徒歩7分
会 費：1,000円
申し込み先：景山康二 (携帯:090-1054-3100)
(メール:koji_k194812@jcom.home.ne.jp)
.....雨天時等の変更・中止の判断.....
前日 PM6:52 の NHK 天気予報:AM6~PM6 の間、横浜が晴&曇は実施。
雨&雪は中止。不確かな場合は担当幹事に確認して下さい



各自ご持参下さい!

2020年 第10回総会のご案内

～第10回寿会湘南支部総会のご案内～
日 時：2020年 5月 26日 (火) 11:00~14:00
場 所：ホテル・ザ・ノット ヨコハマ (旧横浜国際ホテル)
(詳細案内は4月瓦版にてご案内、4月上旬には皆様へ案内を送付予定です)
健康談義は、今回で7回目になります。全身～足の指先まで行いましたが、これからは復習と重点事項の再認識をしていきたいと考えています。何が肝心なのか、何に重点を置いて生活をしたら良いか。実践を交えて皆さんと考えながら進めたいと思っています。当日は、体を動かしながら体験して頂きたいので動きやすい服装でいらして下さい

「日本、凄い」と思うことと、先行きの心配を中国の人と接した中から考えます。

今年1月半ば、大連の知人書道家から2月後半まで上野の東京博物館で「王羲之と顔真卿」展があると連絡がありました。書の最高峰として名前は知って居ましたので王羲之の「蘭亭序(写本)」と顔真卿の「祭姪文稿」の実物を見に出かけました。寿会会員の中に行かれた方もいらっしゃると思います。台湾故宮にあり台湾で2012年展示されて以来の一般公開です。さすがに蒋介石が国宝として大陸から台湾に持ち出したものであるだけに、日本人以外に、会場では多くの大陸の人、台湾の人、韓国の人も目立ちました。瀋陽の50歳代教師夫婦は「ほんものがこんなに近くにゆっくり見れて感激です。見れるのは嬉しいが、本来中国大陸のものが、大陸で見れないのは非常に残念です。」とのことでした。展示できたのは日本に国際的な高い信用があるから実現したのでしょう。。すごい事です。

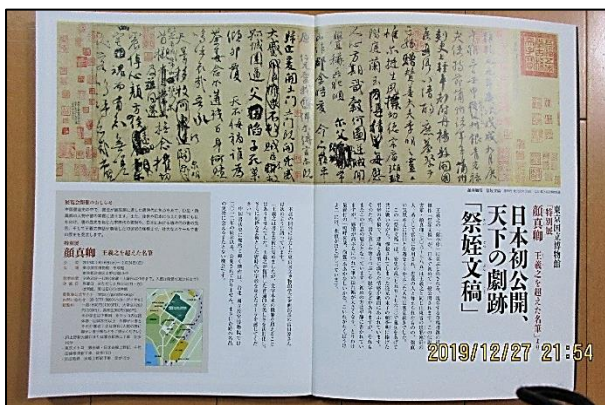
今年も数人の中国人知人が来日した時、買い物に同行しました。特に百貨とドラッグストアでは、彼らは日本の日用品の便利さと言うか使い勝手の良い痒いところに手の届くような機能に大変感心します。しかしその殆どが Made in china であることに驚き、「こんなに便利なものを中国で作っているのに、何故中国では販売してしないのか。作っている我々が何故この便利さを享受できないのか」と嘆きます。日本のすごいところです。

今年11月半ば久しぶりに妻と上海・蘇州に小旅行に行きました。夜は知人達と旧交を温め、今が時期の上海ガニや中国で絶品とされる上海豫園の小籠包を食べたりしながら四方山話をしました。その中で、人材紹介会社の総経理が気になる話をしていました。「自分の会社で扱う人材紹介で、今、日本に仕事を求めて行くのは特別な能力のない労働者だ。能力のある人は、以前は日本に仕事を求めたが、今は行かない。中国国内やシンガポールで仕事を探せばある」とのこと。何故か聞いたら、日本は報酬が平均的で能力のある人への報酬が高くない能力のある人には魅力的でない。今は中国国内でも日本より高額な報酬をだす会社は探せば見つかる。シンガポールは能力がある人には更に高額を出す、とのことでした。話を聞いて、最低賃金に限りなく近い海外労働者が労働不足の日本に必要なのは分かりますが、それと同様有能な人達も日本で働き日本企業や社会に寄与して貰う必要があると思います。アメリカが何故世界で豊かな最強の国を維持できているかは、ハワイに住む従弟達と交流すると良くわかりますが、世界のあらゆる国から労働者だけでなく有能な人材も集まる魅力があるからのようです。

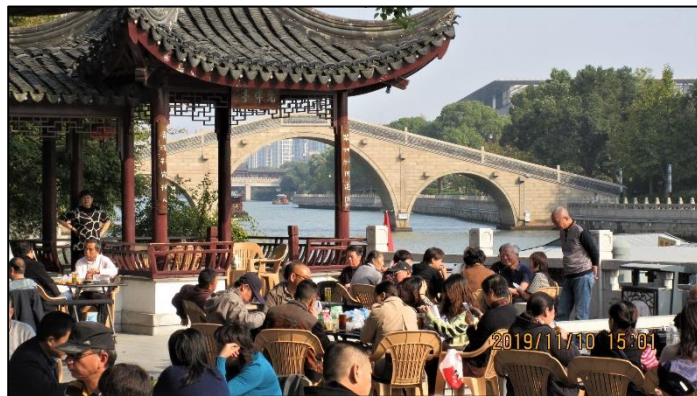
上海で聞いた話が頭の隅にある時に、12月10日～12日の日本経済新聞の朝刊一面に「安いニッポン」と題して記事が載りました。読まれた方もいらっしゃると思います。見出しを列挙すると「価格が映す日本の停滞」「デズニーやダイソー、世界最安値」「伸びぬ賃金 負の循環」「外需(インバウンド)頼みの成長にもろさ」「人材流出 高まるリスク」「香港なら2倍稼げる」「年1400万円は低所得」等々とあります。

平均年齢が後期高齢者の寿会会員が今更なすすべもありませんが、子や孫たちのことを思うと、我々の活躍した日本の行く末が気掛かりです。

2019年12月 中谷泰治



顔真卿の書



蘇州運河遊覧

訃報報告 (2019年9月～2019年12月)

氏名	支部名	ご命日	享年
大森 文郎	東京	2019・09・02	85
小高 敏子	神奈川中央	2019・09・15	73
佐山 宏	上信越	2019・10・31	81

謹んで皆様のご冥福をお祈り申し上げます

大船観音は大仏より大きくなるはずだった！

～情報提供:山本三樹夫さん～



大船駅が近づくと、車窓から白い、巨大な観音様が見えてくる。曹洞宗大船観音寺のシンボル「大船観音像」だ。

高さ25メートル、幅約18メートル、重さ約1,915トン。1927年、「観音思想の普及」を目的に有志が建立運動を始め、29年に着工。しかし世界恐慌や戦局の悪化で工事は中断し、23年間も放置された。戦後再開され、60年春、ようやく完成。

駅から徒歩10分ほど、かなり急な坂道を上がり、数十段ある階段を上ると、柔らかな顔をした観音様の胸像が現れる。計画当初は東大寺の大仏の約2倍の高さの立像を造るはずだったが、地層の関係で胸像になったと伝わる。

東南アジアを始めとする海外からの参拝者も多く、構内には様々な国の人の「献灯」が並ぶ。原爆被災者や戦没者のための慰霊碑も立っている。護持会の小野田康成会長(55)の祖父も慰霊碑にまつられている。

「宗教にこだわらず受け入れるオープンなところがこの観音のいいところ。柔らかなお顔がすばらしく、末永く守っていききたい」と小野田さんは話す。境内には数十本の桜。まもなくシーズンを迎える。



湘南支部のモットー

気楽に・のんびり・楽しく

～編集後記～

先日の初詣では、毎年この時期の「蠟梅」の香りを楽しみにしているのですが、今年は未だ咲いていませんでした。

寒さもこれからが本番、早く花の咲く季節になって欲しいものです。体調を整えて春を待ちたいですね。

発行日:2020年1月10日

発行人:景山康二

編集人:伊藤恵美子

発行:日本ビクター 湘南支部

(現在の会員数:76名)